

●質疑応答

【質問等】

・委員

現在の駐車場は狭い、特に冬期間は狭くなることから駐車場確保のために融雪槽を設置してはどうか。

新庁舎にソーラーパネルの設置を検討しているか。

・委員

昨年12月に商工会議所から3点要望したが、その中で総合庁舎建設推進にあたり業界団体との意見交換の実施を約束したがいつ頃になるか。

・委員

今日示された基本計画（案）の中で変更出来るところと出来ないところがあれば教えてほしい。

【回答】

・危機対策係担当

融雪槽は維持管理にかかるランニングコストを考えると従来どおり除雪し、雪がたまっただけには運搬による排雪で管理していく。なお、駐車場スペースは現在の2倍の面積を予定しているため、冬期間でもある程度の駐車スペースは確保できると考える。

検討しているが、大規模なものは場所的に難しい、最低限の非常時の電力を確保できるか等基本設計の中で比較検討していく。

・総務部長

基本計画（案）から決定に向けての段階、また基本設計に向けての場面でも業界団体の方との意見交換の場は日程調整をして実施する。

・危機対策係担当

変更が難しいと考えているのは ①建設場所（もとまち公園）②建設予定面積（設計委託料等予算に関わるため、計画している4,700～4,900㎡が最小限。削ると廊下面積等に影響が出る）③庁舎の構造（検討の中で近隣市も鉄筋コンクリート造か鉄骨造であり、コスト的にも、防火指定地域であること、耐用年数が30年であることから木造はむずかしい）

皆様からのご意見により変更が可能であり、一緒に考えていける部分は、中の機能やスペース、面積の縛りはあるが市民ギャラリーや1階に設置すべき部署などご意見を出していただき基本設計で盛り込めるか検討したい。

・委員

商工会議所で新庁舎建設促進特別委員会を設置しており、昨日会議があり、いずれ提言書を提出したいと考えているが、建築予定面積については小さすぎるという意見がある。市の庁舎は市職員のためのものでなく市民活動を支援する、活用できるものであり、そのためのスペースを設けるよう提言する予定であり、面積についてまだ議論の余地はあるか伺いたい。

・委員

浄水場の建設工事が令和8年から10年と計画されており、総合庁舎建設とまる被りしており、市内建設業者の受注に配慮しずらすことは検討しているか。

財源部分ですが、まちづくり懇談会でも市民の皆さんから建設費の35億は大きいとの声もあるが、来月の市民説明会に向けて、これだけの地方債を起債しても将来的にも市の財政は大丈夫だと示す資料があるとわかりやすいと思う。

・委員

現在の庁舎の非常用発電機を移設して使用することだが耐用年数は大丈夫か。

新庁舎の災害用備蓄品保管スペースは十分計画されているか。

・危機対策係担当

先ほどの説明の中で面積の変更は難しいと言ったのは、計画面積を更に小さくするのは難しいという意味であり、大きく建設するのは予算の兼ね合いもあるが、将来的な市職員数の減少により市外局部署の集約も踏まえ検討の余地はある。

・危機対策係担当

市担当部署同士でも話は出ている。工期が重なれば他の公共工事が全くできずに影響は大きい。ただ市内業者にはできない工事の部分もあるので検討していきたい。

参考とし検討する。(現時点において浄水場と合わせて示すことは難しい)

・総務防砂課主幹

購入後まだ5年程度であり毎年保守点検をしている、35年程度は使用可能な製品である。

・危機対策係担当

新庁舎内の備蓄品保管スペースは、初動時に使用する物品の保管であり、大規模災害用に備蓄している毛布、食料品・飲料水は旧保健センター等に保管しており、災害時にはそこから運搬することとなる。

●意見等（本日参加の委員全員からの意見）

- ・基本計画なので専門家と協議して進めて行っていただきたい。
- ・庁舎建設に関わる議論に関わったのは過去に1度あるが、本日のような丁寧な計画案の説明は無かった。今回非常に良くできていると思う。木造は金がかかることは皆さん理解できたと思うが、芦別は木材の街でもあるので庁舎の室内で、金額はかかると思うができるだけ木材を使用していただきたい。
- ・あまり詳しいことは分からないが、市民のための便利な庁舎になってもらえればありがたいと思う。
- ・内容的に個人としては難しい内容であるため、その都度質問をさせていただきたいと思う。
- ・市民が使いやすい庁舎にしていきたい、市の庁舎は芦別のランドマークとなるので、せっかく作るのであれば芦別らしいいい庁舎だねと言われるようなものを目指していただきたい、そのために木材の使用も全部でなく取り入れていただきたい。庁舎建設の財源も市民の方が安心できるよう情報提供いただきたい。
- ・芦別らしい建物にしてほしい。予算の関係もあると思うが何か一つ特色あるものにしていただきたい。
- ・当初の令和2年のものから今回の令和5年8月の基本計画はZEBの考え方など盛り込まれており良いと思う。今後も皆さんと協議を重ねながら市民のために良いものができればいいと考えている。
- ・今回初参加で、以前は福祉センター横に建設とのうわさを聞いていたが、本日もとまち公園に変更になったことを知った。もとまち公園にある噴水や遊具がなくなってしまうのは残念だが、新庁舎にはオストメイト機能付きトイレや障がいのあるかたにも寄り添った形、またLGBTQのかたにも考慮した形、そしてコロナや個人情報保護のための窓口の仕切りはよいと思うし、冷暖房も完備していただきたい。
- ・初めて参加したので意見は述べにくいですが、過去に他市を視察したところ、内装材や名札、ティッシュの箱までも木材を徹底して使用し

ているところがあった。新庁舎は星の降る里をイメージしたものを考えていただきたい、また現行どおり介護高齢課をまとめて1階で考えていただき感謝している、オストメイト機能付きトイレも1か所ありよいと思う。

- ・コンパクトで市民が利用しやすい場所となってほしい。福祉センターからも近く場所も高齢者の利便性が高い。木造となると建設費が高いが、内装の一部分にでも温かいイメージがある木目を採用してもらいたい。
- ・もとまち公園の噴水や遊具は子どもたちもよく利用している。新しい公園になっても楽しめる遊具の設置を考慮していただきたい。
- ・災害時に頼れる市役所、頼れる組織、新庁舎としていただきたい。